

主任教授からのメッセージ

“外科は厳しい職場”というイメージが出来上がっていることだと思います。「手術は体力が必要だし、緊急がきたら24時間お仕事モードで、プライベートを我慢してライフイベントも二の次にして働く」、といった感じでしょうね。

実際、私もそんな時代に外科医として歩んできましたが、「もう少し効率よくしたら外科ってもっと楽しくできるのになー」と思っていました。そうなんです、手術は元々独りでするものではないし、チームで作り上げていくものなんです。手術をチームでするのであれば、周術期もチームですればいい。常に全員がそろふ必要はなく、繋がっていればいい。そんな想いから上部消化管外科学講座は産声を上げました。

手術は交代制で、参加している時間に短期集中する。皆でした手術の後は自然に皆で管理する。情報は管理されたSNS上で共有し、誰かが投げた疑問にみんなで考え、答えを見つける。お互い感謝し合いながら、知識も技術も高め合っていく、そんな外科医生活を送れる環境を提供します。ライフイベントには女性だけでなく、男性にもしっかり参加していただけます。仕事も家庭も協同していきましょう。

手術で治す喜びを皆で分かち合いたい皆さんにはお勧めの診療科です。

○ 診療科の特徴

当講座では、上部消化管（食道、胃、十二指腸）の悪性疾患と高度肥満や2型糖尿病に対する減量・代謝改善手術、ヘルニアや逆流性食道炎に対する手術のような機能改善を目的とした治療を主に行っています。

最先端の手術や化学療法を積極的に行い、患者さんに最善の医療を提供できるよう日々研鑽を積みながら、働き方改革や労働環境の改善にも力を入れています。

○ 診療科で働く女性医師

当講座では現在2名の女性医師が所属しています。20年目以上のベテランと10年目以下の若手ですが、それぞれ第一線で活躍しています。

職場復帰への取り組みについて

○ 復帰までの道のり

どのような勤務形態で復帰するかは、本人の体調、希望などに合わせて相談して決定します。産休・育休明けには、大学の規程に従い、勤務を開始します。

○ 女性医師キャリア形成支援担当医師からのメッセージ

患者さんを笑顔にすることはもちろん、ともに働く仲間が笑顔であれるように、というモットーを掲げている当講座では、男女問わず、それぞれが自身のプライベートも大切にしながら働くことができるようにお互いに協力し合っています。比較的若いメンバーが多く、医師としてだけでなく、人としても、1年後、3年後、5年後、10年後のイメージをしながら働くことができる環境です。特に女性は、女性ならではのライフイベントと医師として成長したい時期が被ることが大きな心配事になると思いますが、一人ひとりの状況、希望を一緒に考え、協力してくれる仲間のいる職場でならば、自分の人生も楽しみながら、しっかりと目標に向かって進んでいけるとと思います。

● 講座ホームページ 関西医科大学 上部消化管外科学講座 <https://www7.kmu.ac.jp/uppergisurg/>